



欄に数値またはコメントを記入

| | | | |
|----------------|---------------|-----|------------------|
| 1. 建物概要 | | | |
| 建物名称 | 伊東温泉競輪選手舎増築工事 | BEE | 0.7 BEEランク B- ★★ |

| 2. 重点項目への取組み度 | | | |
|--|--------|---------|------------|
| 重点項目 | 得点*/満点 | 取組み度 | 評価 |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) | 3.0 /5 | | ふつつ |
| "災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) | 2.9 /5 | | がんばろう |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) | 2.3 /5 | | がんばろう |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature) | 2.0 /5 | | がんばろう |
| ※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点) | | 評価 凡例 | |
| | | よい 4点以上 | ふつつ 3点以上 |
| | | | がんばろう 3点未満 |

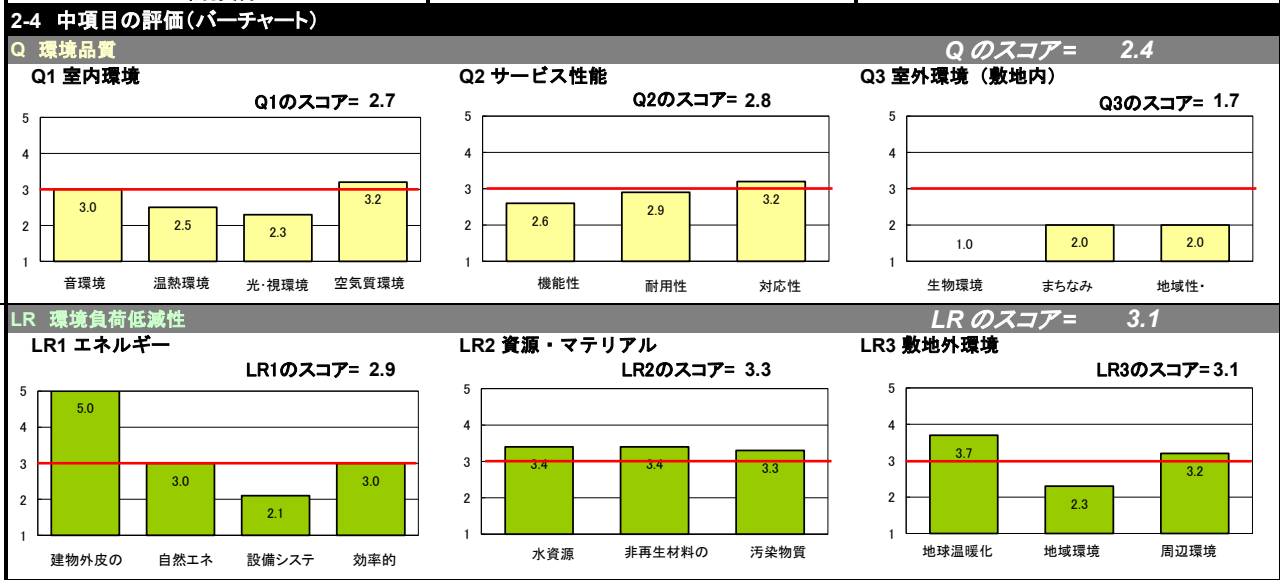
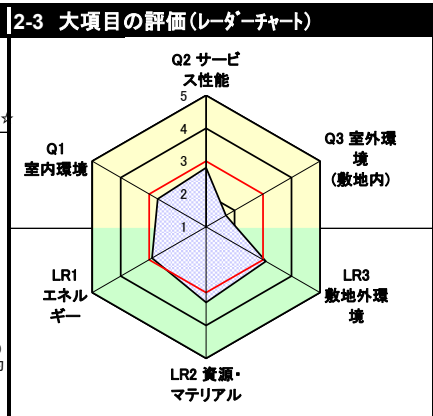
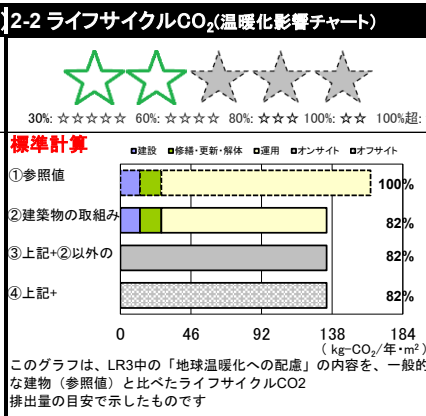
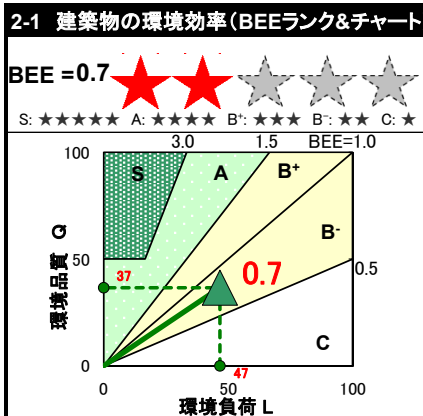
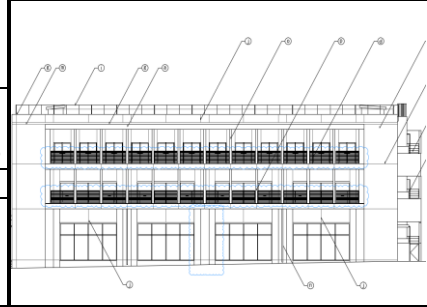
| 3. 重点項目についての環境配慮概要 | | 内訳対応項目 | | |
|---|--|---|---|------------|
| 各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 | | | | |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming) | | 得点 | 3.0 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③カーテンと底を合わせることでグレアを制御します。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI_m=0.71。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。⑫床: ビニル床シート、タイルカーペット、断熱材。⑬LGS使用している。⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO₂排出率が82%。 | Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮ | ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善 | | |
| | "災害に強いしずおか"の形成(Disaster) | | 得点 | 2.9 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。 | Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰ | ⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備 | |
| | "しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) | | 得点 | 2.3 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 | Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑳ ㉑ | ⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上 | |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature) | | 得点 | 2.0 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。 | Q-3 1 ⑤ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥ LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮ | ⑤ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善 | | |

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_進捗版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 伊東温泉競輪選手宿舍増築工事 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 静岡県伊東市岡字新川73、岡字細久保1279-21他18筆 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 用途地域の指定のない区域、防火地域指定なし(法22条地域) | 平均居住人員 | 90人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | ホテル | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2027年9月 予定 | 評価の実施日 | 2025年10月27日 |
| 敷地面積 | 4,150 m ² | 作成者 | 高橋秀紀 |
| 建築面積 | 791 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 1,852 m ² | 確認者 | |



3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|--|
| これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。 | 特になし。 |
| Q1 室内環境 1.25% ≤ [昼光率]。 カーテンと庇を合わせることでよりグレアを制御します。 自然換気有効開口面積が居室面積の1/10以上の窓を確保。 | Q2 サービス性能 宿泊部の天井高2.7m以上。 ケーブルラック内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。 |
| LR1 エネルギー BPI _m =0.71。 | LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床: ビニル床シート、タイルカーペット、断熱材。 LGS使用している |
| | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が82%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される